

さくらFM 78.7MHz

～ラジオで訪ねる本の舞台～

西宮文学案内

さくらFM 78.7MHz

第1～4月曜 20:30～(30分間)

再放送は日曜 8:30～

総合プロデューサー：河内厚郎(文化プロデューサー)

パーソナリティ：増井孝子(さくらFM)



🔊 聴取方法は3通り!

① FMラジオで周波数を78.7MHzに合わせる

② パソコンで聴く

⇒ サイマルラジオのホームページから

③ スマートフォンで聴く

⇒ アプリ「Tunein Radio」をダウンロード

※②③について詳しくは、さくらFMのホームページでご確認下さい

🔊 聞き逃しても大丈夫!

放送終了後、西宮市のホームページから音声配信します。

「広報にしのみや」⇒「さくらFM」⇒「西宮文学案内」へアクセス。

※著作権等の関係で一部放送できない場合があります

お問合せは、西宮市役所 広報課 TEL: 0798-35-3402 / FAX: 0798-35-3449



中国人作家『虫の眼』で見る、西宮の風土と文学

ナビゲーター：毛丹青氏(作家・神戸国際大学教授)

目次	本放送 月曜 20:30～	再放送 日曜 8:30～
第1話…越境するハルキワールド	9/2	9/8
第2話…カトリック夙川教会と遠藤周作	9/9	9/15
第3話…西宮の文学風景	9/16	9/22
第4話…まとめ&質疑応答コーナー	LIVE 9/23	9/29

第4話はリスナーの皆さまからお寄せ頂いたご質問・ご感想を交えてお送りします
さくらFMまでメールかFAXでお寄せ下さい

E-mail: 787@sakura-fm.co.jp / FAX: 0798-37-5514



中国人作家『虫の眼』で見る、西宮の風土と文学

9月号 ナビゲーター：毛丹青氏（作家・神戸国際大学教授）

《第1話》越境するハルキワールド

村上春樹はいまや数十カ国語に翻訳され、国と言語を超えて世界中で最も広く読まれている日本人作家だ。中国の読者からも幅広い支持を受け、翻訳を通じて確実に世界文学の一部になっている。さて、彼が少年時代を過ごした西宮に住み始めてから10年目となる中国人作家は、果たしてなにを見てきたのか。そして、その観察に込められた想いとは？

《第2話》カトリック夙川教会と遠藤周作

今から20年ほど前、日本から大連に飛ぶ旅客機で、遠藤周作先生と隣り合わせに座ったことがある。その不思議なご縁で、『深い河』などの名作を読み始め、すぐに物語に引き込まれた。そして、深い感動を覚えた。それ以来、夙川のほつりを歩くと、なぜかいつも文学のような素晴らしい風景が広がっていく。

《第3話》西宮の文学風景

神呪寺や門戸厄神など、名前だけ聞くと、なんだかとても怖そうな場所だが、実際のところ、その近くにスパニッシュ・ミッション・スタイルの優美な女子大の校舎があり、淡いクリーム色の外壁と赤銅色の瓦がその大きな特徴として広く知られている。地域や建造物のネーミングなどにはそれなりの理由があるはずだが、しかし、その隠された実像への手がかりも含まれているかもしれない。これこそ、「文学」なる風景だと思っている。

《第4話》まとめ&質疑応答コーナー

長年西宮に住んでいる私にとって、この土地の文学の文脈に対する理解の多くは、空間の移動から出たものといえる。少なくとも自分自身の体で感じたものが、ときに小説のテキストよりも大きくなる。結局、過去を描き、未来を切り開くことができるという文学は、越境するものとしていつまで経っても変わらない。

【通信欄】 第4話はリスナーの皆さまからのご質問・ご感想を交えてお送りします。FAXでお寄せ頂く場合は、この通信欄をご利用ください。

さくら FM
FAX : 0798-37-5514



文教住宅、平和非核、環境学習
三都市宣言周年記念ロゴマーク